

1-1

事業 1-1	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度		
	事業名	中小企業融資制度による資金調達支援	予算額		160,000 千円		
			決算見込額		102,316 千円		
	事業概要	融資に対する利子及び保証料の一部を助成	取組状況	事業結果	市内の中小企業が、経営上必要とする資金を円滑に調達できるよう融資制度を設け、利子及び信用保証料の一部を助成した。 制度融資申し込み件数 633件 (内訳) 小口資金 13件 短期経営改善資金 247件 産業振興資金 312件 創業支援資金 22件 設備投資強化資金 24件 中小企業災害対策資金 12件 桜えび不漁緊急対策資金 3件		
	達成指標	制度融資申し込み件数 1,000件/年	達成率等	R6.3.31 現在	633件/年	(達成率)63.3 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・R5年度は、市の制度融資ではなく、低利のコロナ資金(静岡県制度)を申し込んだ事業者が多かったことから、目標を下回る結果となった。 ・R6年度はコロナ資金の取扱いが終了したことから、事業者の資金調達として制度融資の申込が増えると思われるため、取扱金融機関へ制度融資利用促進等を周知していく。 ・現在の達成指標(1000件)についてはコロナの影響を見込んだものであるため、R6年度より現状に即した達成指標(700件)に変更したい。	
		政策	02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
施策		02 経営安定化に向けた資金繰り支援					
分野							
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		R6年度以降の達成指標については、現状を鑑みて「制度融資申し込み件数 700件/年」と設定することが妥当であるため、変更したい。		

1-2

事業 1-2	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度	
	事業名	ビジネスに関する相談窓口及び専門家派遣	予算額		32,620 千円	
			決算見込額		30,742 千円	
	事業概要	産業支援施設での窓口相談及び専門家派遣による課題解決を図る	取組状況	事業結果	産業支援施設である、静岡産学交流センターにおいて、以下の支援を実施した。 ・中小企業診断士による無料窓口相談 平日:13時～19時 ・IT専門家による無料WEBマーケティング相談 土曜:10時～17時 ・4分野の専門家派遣 (1)経営分野 (2)情報化分野 (3)マーケティング分野 (4)デザイン分野	
	達成指標	専門家派遣数 145件/年	達成率等	R6.3.31 現在	143件/年	(達成率)98.6 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・専門家派遣の希望があっても、希望する分野の専門家派遣予約枠に空きが無いという状況があり、目標値を若干下回った。 ・専門家の登録数を増やし、多様化する事業者のニーズに応えることができよう体制を強化することで、目標件数達成を目指す。	
		政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します				
		施策 02 経営基盤・競争力の強化				
	分野 政策 施策					
担当課等	産業政策課		その他(特記事項)			

1-3

事業 1-3	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度	
	事業名	事業承継支援事業	予算額		2,000 千円	
			決算見込額		2,000 千円	
	事業概要	次世代に技術やノウハウを引き継ぐため、円滑な事業承継に向けた支援の実施	取組状況	事業結果	事業承継者・事業承継の予定者を対象に、継続して事業を行うことができるよう新規事業創出や業務変革のための支援として、3件の伴走支援を行った。	
	達成指標	支援件数 4件/年	達成率等	R6.3.31 現在	3件/年	(達成率)75 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 施策 02 経営基盤・競争力の強化	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・新規事業創出や業務変革を目的とした事業にニーズがなく、応募事業者数が募集数に達しなかったため、目標未達となった。 ・R6からは、市が事業承継を必要としている潜在事業者の掘り起こしを行い、支援については、静岡県事業承継引継センターと連携して取り組んでいく。 ※R6からは、達成指標が「アンケート調査の実施(案件の掘り起こし)」となる(R5年度審議会で報告済)。	
	担当課等	産業振興課			その他(特記事項)	

1-4

事業 1-4	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度	
	事業名	事業継続(BCP)に係る啓発	予算額		0 千円	
			決算見込額		0 千円	
	事業概要	中小企業による防災・減災の取組を促進するための啓発	取組状況	事業結果	・当課主催の啓発事業は未実施。 ・どのように進めるべきか、経済産業省に相談する中で、まずはモデルケースとなる事業者を輩出するため、経済産業省とともに市内企業に対しヒアリングを行った。	
	達成指標	啓発事業の実施	達成率等	R6.3.31 現在	啓発事業の実施無し	0 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 — 政策 — 施策 —	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・啓発事業(セミナー開催)の実施を目標としていたが、市内事業者のBCPへの関心具合が不明であったため、啓発事業の実施はせず、経済産業省とともに市内企業へヒアリングするのみにとどまった。 ・大規模災害が発生した場合に、市内企業がBCPシートをもとに適切な対応ができたり、適切な保険に入っていて資金的なダメージを軽減できたりする状態にしておく必要がある。そのため、次年度は他都市での取組を調査し、どのような取組をすれば、事業者をそのような状態に向かわせることができるのか調査し、方向性を決める。	
	担当課等	産業振興課			達成指標を「啓発事業の実施」としていたが、「BCPを策定済みあるいはBCPを策定中」の市内中小企業の割合50%という目標に変更したい	

1-5

事業 1-5	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度	
	事業名	IT導入に向けた生産性向上支援事業(★)		予算額	5,600 千円	
				決算見込額	5,599 千円	
	事業概要	IT導入に向けたワンストップ相談窓口を通じた生産性向上を支援	取組状況	事業結果	・静岡商工会議所に委託して、ITなんでも相談窓口を設置。 窓口相談、巡回指導、専門家派遣、セミナーを実施し、IT導入の促進並びに支援した。 【実績】 ・ITなんでも相談窓口 相談件数224件 ・セミナー 全2回 119名参加	
	達成指標	IT導入に関する相談件数 150件/年	達成率等	R6.3.31 現在	224件/年	(達成率)149 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野 —	事業 評価	目標の 未達成 理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	・利用者数の更なる増加のため、周知活動を積極的に行う。 ・相談内容を分析し、相談者を他のデジタル施策(DX支援、デジタル補助金)に繋げ、支援体制の強化を図っていく。	
		政策 —				
		分野 —				
担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)			

1-6

事業 1-6	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度		
	事業名	中小企業等DX支援事業	予算額		5,000 千円		
			決算見込額		4,994 千円		
	事業概要	専門家による伴走型支援を通じ、成功事例の排出による地域全体へのDX普及を促進	取組状況	事業結果	・DXの推進啓発、参加募集のためのセミナーを実施 ・市内企業5社について、専門家による伴走支援を実施 ・伴走支援による成果発表会を実施 ・成果についての事例集を作成し、静岡市HPにて公開。		
	達成指標	支援件数 5件/年	達成率等	R6.3.31 現在	5件/年	(達成率)100 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・支援先が伴走支援終了後もDX推進できているか、フォローアップを行う。 ・DXにおける牽引企業の輩出を加速化するため、支援件数を増加させる(5件から10件に増加予定)。 ・支援先が伴走支援により自社の課題を明らかにすることができても、機器の導入費など資金面での問題によりDXが進まないという問題があるため、機器導入の支援を行う。		
		政策 01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します					
		施策 05 地域経済におけるDXとGXの推進					
	分野 政策 施策						
担当課等	産業振興課		その他(特記事項)				

1-7

事業 1-7	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度		
	事業名	オープンイノベーション推進事業(コ・クリエーションスペース運営事業)(★)	予算額		25,559 千円		
			決算見込額		25,526 千円		
	事業概要	人材・技術・ナレッジ等が還流するエコシステムの確立に向けた交流・共創拠点の実証	取組状況	事業結果	・新規事業創出に向けて、参加者同士の交流・マッチングイベントや学生の市内企業へのインターン事業などを開催することで、異業種間や企業と学生がつながる機会を創出した。 【実績】 ・相談件数 125件、うちマッチングした件数77件 ・首都圏スタートアップの市内進出支援 (事例)スタートアップ企業の㈱オカラテクノロジズが、静岡市に進出するにあたり、市内関連事業者を紹介。その過程で、静岡経済同友会の「テイクオフ静岡」に選出され、市内事業者からの支援のもと、商品のブランディングを図った。 ・新商品開発の支援(おむすびプロジェクト) (事例)天神屋と静岡サレジオ中学生が共同で商品開発した「うさぎむすび」が天神屋で販売された。		
	達成指標	プロジェクト創出件数 10件/年	達成率等	R6.3.31 現在	10件/年	(達成率)100 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	目標の 未達成 理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	これまでは主に市内に拠点をもつ事業者や学生などに対して、異業種間や企業と学生がつながる機会を創出し、エコシステム構築に向けた協働・共創体制を推進してきた。今後は、さらに先進的な技術・ナレッジを市内に還流しイノベーションの創出を図るため、首都圏に拠点をもつ企業や事業者とのマッチングを図っていく必要があるため、以下を実施する。 ①首都圏のインキュベーション施設である渋谷QWSと連携し、首都圏企業の新規事業と市内事業者とのマッチングを図る仕掛けづくりを行う。 ②首都圏等の企業から派遣された外部人材と地域課題の解決を図る地域活性化起業人制度を活用し、首都圏等企業やスタートアップとのマッチングを図る。	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
施策		01 協働・共創体制の構築					
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業政策課		その他 (特記事項)			

1-8

事業 1-8	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度		
	事業名	スタートアップ支援事業(★)	予算額		23,500 千円		
			決算見込額		23,191 千円		
	事業概要	スタートアップが展開しやすい環境を整備し、新たなビジネスや市内発のスタートアップを創出し、地域産業の持続的な発展を図る	取組状況	事業結果	・スタートアップの事業成長支援プログラムにおいて、5社のスタートアップを採択し、市内企業や大学等とのマッチング、事業へのアドバイスなどの伴走支援を行った。 ・また、スタートアップ支援に係る地域の環境整備として、市内企業等19団体が参画するスタートアップの支援体制を形成し、スタートアップと市内企業との交流を促進した。 ・これらの結果、静岡県のスタートアップコンテストでの受賞する者(1社)、や市内への子会社設立(1社)する者が創出された。		
	達成指標	スタートアップ創出(支援)件数 70件(R12)	達成率等	R6.3.31 現在	5件/年	— (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します 施策 04 創業支援の充実 分野 政策 施策	事業評価	目標の未達成理由・次年度に向けた改善点等	・スタートアップに対する成長支援は、既に首都圏の都市が従前から取り組んでおり、支援策が充実しているため、本市として取り組む効果が表れなかった。 ・そこで、これまでの取組を改め、令和6年度より、スタートアップとの協働に事業方針を変更し、スタートアップと地域(行政を含む)との共創による社会課題解決促進に取り組むこととした。 ・この変更に伴い令和6年度より、達成指標を「共創プロジェクト件数 25件(R8)」に変更する(R5年度審議会にて報告済)。		
担当課等	産業政策課	その他(特記事項)					

事業 1-9	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度		
	事業名	産業財産権出願事業助成	予算額		1,200 千円		
			決算見込額		1,166 千円		
	事業概要	自ら開発した技術や商品について、特許及び実用新案の出願を行う際に要する経費の助成	取組状況	事業結果	静岡県発明協会主催の会議に出席し、当該制度の説明を実施。補助対象事業者へ事業の紹介をするよう依頼し、市内中小製造事業者の産業財産権出願を12件支援した。		
	達成指標	出願件数 12件/年	達成率等	R6.3.31 現在	12件/年	(達成率)100 (%)	
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野 — 政策 — 施策 —	事業 評価	目標の 未達成 理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	この制度を知らず、経費負担を理由として出願を諦めたり、出願経費を自己負担したりしている事業者が存在すると思われる。このため、必要な企業に情報が届くよう、発明協会だけではなく金融機関等にも周知を行い、当制度の認知度向上、利用促進を図る。		
	分野 政策 施策						
	担当課等	産業振興課		その他 (特記事項)			

事業 1-10	ものづくり基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度		
	事業名	オープンファクトリー推進事業(★)	予算額		2,000 千円		
			決算見込額		1,095 千円		
	事業概要	産官連携による工場見学・ものづくり体験を基軸とした地域活力の向上を図る	取組状況	事業結果	・令和5年11月に「ファクハク 静岡工場博覧会2023」を開催。市内中小企業25社が一斉に自社工場を公開し、延べ838名の市民が参加した。工場見学やワークショップを通じて、製造業の魅力発信を行った。 ・自社工場を公開した市内中小企業のうち、「事業への参画がプラスとなった」ととらえた企業の割合は95.7%となり成果目標を上回った。 ・参加者の92%から「とても楽しかった」と回答を得ることができ、継続開催を望む声を多数得られた。		
	達成指標	参画がプラスとなった企業の割合70%(R5)	達成率等	R6.3.31 現在	参画がプラスとなった企業の割合95.7%	(達成率)136.7 (%)	
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	—	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・イベントプログラムの確定が直前になり、周知広報期間が2週間と短くなり、市民に情報が行き届かなかった可能性がある。このため、周知広報期間として1ヶ月を確保する。 ・初開催だったため市民の認知度不足が否めなかった。このため、毎年度同時期に継続開催することでイベントの知名度を高めていく。 ・市広報紙の掲載スペースが小さく目立たなかった。このため、予め大きな掲載スペースを確保し、より目立つ記事を掲載する。さらに、コジマ×ビックカメラ静岡店の3階駐車場入りロスペースでの周知広報も行う。 ・2年目以降に参加する事業者が増えるにつれ、事業者間の熱量の差が出ることも想定されるため、実行委員会のサポートを行い、実施体制の強化を支援する。	
		政策	—				
		施策	—				
担当課等	産業振興課		その他(特記事項)				

事業 1-11	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)		令和5年度		
	事業名	静岡市プラモデル化計画推進事業(★)	予算額		33,050 千円	
			決算見込額		23,240 千円	
	事業概要	市民等が「プラモデルのまち」を体感し、本市のシティプロモーションとプラモデル産業のPRを推進	取組状況	事業結果	環境づくり ①民間企業のプラモデルデザイン活用に対する助成 ・プラモデルデザイン活用補助 2件 ・プラモニュメント設置補助 5件 ②キャンペーン等の実施 ・プラモニュメントスタンプラリーの開催 ・ランナーアートキャンペーンの開催 ・PRツールの作成、配布 人材づくり ①ものづくりプラモデル大学の開講 ・受講者33名、修了者31名 ②ものづくりキャリア教育の実施 ・市内小学校17校の申込、979名が受講 ③ホビショー小中高生招待日の開催 ・市内小学校40校を含む3,894人を受入 コンテンツづくり ①企業、団体とのコラボイベント等の開催 ・プラモデルに接する機会を7件創出 ②全国プラモデル選手権大会の開催準備 プロモーション ①取材対応 ・報道及びメディアの取材対応40件以上 ②プロモーションサポーター ・静岡まつり、産業フェアステージでのプロモーションを実施 ・オフィシャルサポーターソングの作成 ・市民とオフィシャルサポーターソングMVの作成	
	達成指標	「模型の世界首都」への誇りを持ち、自律的にプラモデルを発信する市民の割合(R12:50%、R5:40.7%)	達成率等	R6.3.31 現在	44.5%	(達成率)109.3 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野 ⑦商工・物流	事業 評価	目標の未達成理由・ 次年度 に向けた 改善点等	環境づくり、人材づくり、コンテンツづくりの事業については基盤づくりが着実に進んでいるが、「プラモデルのまち」の魅力を発信するプロモーション事業が不足している。そのため、オフィシャルサポーターのイベントでの露出を増やしたり、プラモデル関係以外のイベントでPRツールを配ったりすることで、公民連携でブランドイメージの確立と認知度の向上を図る。	
		政策 01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策 02 本市産業特性の活用				
	分野					
	政策					
	施策					
	担当課等	産業振興課	その他 (特記事項)		市政アンケートモニター調査結果を基礎値として指標を設定していたが、この調査は毎年の実施が困難であるため、R5年より産業フェアにおけるアンケート調査結果を採用し、R12年までに50%を目標に再設定。R5の目標値を40.7%に修正したい。	

事業 1-12	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)		令和5年度		
	事業名	企業立地促進事業(★)	予算額		5,000 千円	
			決算見込額		4,994 千円	
	事業概要	地域産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大に向けた企業の誘致及び留置を推進	取組 状況	事業結果	・市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地を促進した。 ・テレワークの推進による地方移転ニーズを取り込むため、県や東京事務所と連携し、情報発信や企業訪問等を行い、首都圏からの企業誘致に成功した。 【実績】 ・新規企業立地件数 21件 ・市内企業訪問 129件 ・市外企業訪問 121件 ・企業立地相談件数 313件	
	達成指標	企業立地件数 20件/年	達成率等	R6.3.31 現在	21件/年	(達成率)105 (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	目標の 未達成 理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	・コロナ禍により減少していた企業の設備投資意欲が復調し、市内企業における大規模な設備投資の相談が増加しているため、企業訪問等により企業ニーズを把握し、助成制度の拡充や企業の課題解決に向けた伴走支援により企業立地の早期実現を後押ししていく。 ・首都圏のデジタル(IGT)企業からの進出相談が増えてきているため、物件情報の提供や企業が特に不安視する人材確保のサポート体制の整備、企業ニーズに応じた助成制度の見直しなどを行い、着実な企業立地に繋げていく。
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します			
		施策	03 企業誘致と留置の推進			
	分野					
	政策					
	施策					
担当課等	産業基盤強化本部		その他 (特記事項)			

事業 1-13	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)		令和5年度			
	事業名	企業立地用地開発推進事業	予算額		5,000 千円		
			決算見込額		4,994 千円		
	事業概要	企業誘致・留置の推進及びサプライチェーンの強靱化を図る	取組状況	事業結果	・過年度調査にて大規模な開発候補検討とした竜南地区(9.6ha)への企業立地実現に向け、地権者アンケートによる意向調査、意見交換会を実施。また、集積を想定する企業及び開発事業者の意向把握、開発手法等の整理を行った。 ・R5年9月補正予算にて計上した、未調査地域における可能性調査及び既存調査地の再検証など新たな開発候補地の調査を実施し、70か所以上の開発候補地を抽出した。		
	達成指標	開発候補地に対して、開発事業者の決定及び事業着手	達成率等	R6.3.31 現在	地権者説明会の実施及び企業意向の把握	— (%)	
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	⑦商工・物流	事業 評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・計画最終年度のR12年度に向け、事業の全体スケジュールに沿って計画的に進めることができていく。 ・竜南地区においては、個別訪問による地権者意向調査と、その結果を踏まえた開発区域の設定及びゾーニング(農地集約・企業用地創出)を行う。 ・新たな開発候補地に関しては、産業基盤強化プロジェクトチームにおいて開発の可能性がより高い候補地を絞り込み、対象候補地の地権者意向調査と結果の集計・分析を行う。 ・具体的な用地の創出に向け、(仮称)一般財団法人静岡市土地等利活用推進公社や民間開発事業者等と連携して事業を進める。	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
担当課等	産業基盤強化本部	その他 (特記事項)					

1-14

事業 1-14	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)		令和5年度		
	事業名	(主)山脇大谷線(小鹿～宮川)道路整備事業	予算額		768,651 千円	
			決算見込額		768,651 千円	
	事業概要	物流の効率化に向け、恩田原・片山土地区の工業団地へのアクセス整備等の実施	取組 状況	事業結果	・下大谷線駿河地区整備促進協議会とともに、予算確保のため、国土交通省へ要望活動を実施した。 ・地元説明会や下大谷線駿河地区整備促進協議会役員へ現地説明を実施した。 ・事業区間の4車線供用に向け、必要な用地取得を実施し、用地取得率は18.5%から29.6%となった。	
	達成指標	事業区間(L=1.5km)の4車線供用	達成 率等	R6.3.31 現在	L=0.0km供用	— (%)
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野 政策 施策	⑩ 社会基盤分野 01 地域連携や交流の拡大に貢献する道路整備を推進します 02 広域から呼び込む道路ネットワークの形成	事業 評価	目標の 未達成 理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	引き続き、事業推進に必要な予算を確保し、用地取得や工事を実施していく。
		分野 政策 施策				
		分野 政策 施策				
担当課等	道路計画課		その他 (特記事項)			

1-15

事業 1-15	ものづくり 基本計画	方針(持続的な発展に向けた経営力づくり)			令和5年度		
	事業名	静岡産業支援センター「ツインメッセ静岡」管理 運営事業	予 算 額		542,774 千円		
			決算見込額		522,462 千円		
	事業概要	ツインメッセ静岡の貸館を通じた経済活動支援 及び広域物資拠点等公共的機能の提供	取 組 状 況	事業結果	・貸館業務については、令和5年4月に南館の大規模改修工事が完了したこと、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことが作用し、目標を達成した。南館の大規模改修工事に伴う休館中においても、主にリピーター利用企業を中心に北館への利用誘導や日程調整を丁寧に行ったことも目標達成に寄与した。 ・広域物資拠点としては、南館の大規模改修工事により耐震性が向上し、関係部署や地域と連携しつつ、拠点としての体制を整備している。		
	達成指標	施設利用率 40%以上/年	達成率等	R6.3.31 現在	44.85%	(達成率)112.1 (%)	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	—	事業 評 価	目標の未達成理由 ・ 次年度に向けた改善点等	南北両館の利用促進に向け、(公財)静岡産業振興協会と催事誘致等において連携していくとともに必要な計画修繕の実施を支援する。	
		政策	—				
		施策	—				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課		その 他 (特記事項)			

2-1

事業 2-1	ものづくり基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）		令和5年度	
	事業名	中小企業事業高度化事業助成（★）	予算額		40,000千円
			決算見込額		56,768千円
	事業概要	競争力の強化や高付加価値化に向け、市内製造拠点到機械設備を導入する経費の助成	取組状況	事業結果	コロナ禍から回復傾向で機械導入需要の高まるなか、補助金を23件交付した。なお、交付した23件のうち、17件が補助金交付要綱に定義する「省エネに資する機械設備」の設置となり、市内企業の省エネ化に寄与している。
	達成指標	機械設備設置件数 30件/年	達成率等	R6.3.31現在	23件/年 (達成率)76.7(%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 施策 03 新製品・技術開発に向けた支援	事業評価	目標の未達成理由・次年度に向けた改善点等	・目標件数は未達成であるが、半導体供給の混乱等により、機械設備の設置が先送りとなった企業があったことが一因であると考えられる。 ・機械導入による効率化、省エネ化を促進し地域産業の活性化、高度化に貢献するため、さらなる周知を行い認知度の向上を図る。
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		

2-2

事業 2-2	ものづくり基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）		令和5年度	
	事業名	生産性向上に取り組む中小企業支援（先端設備等導入計画認定業務）	予算額		—千円
			決算見込額		—千円
	事業概要	労働生産性向上を図るため、取得設備の固定資産税の負担を3年間にわたって支援	取組状況	事業結果	・R5年4月1日～R7年3月31日までの間に中小企業等が「先端設備導入計画」に関する認定申請を受け設備を導入する場合固定資産税を3年間、2分の1に軽減するという税制改正がされた。その改正に則り、提出された先端設備等導入計画について審査し、認定事務を行い、認定事業者が税制支援を活用できる状態にした。 【実績】 ・新規認定件数 124件 ・変更認定件数 14件
	達成指標	実施（必要に応じて再延長の検討）	達成率等	R6.3.31現在	実施 —(%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 — 政策 — 施策 —	事業評価	目標の未達成理由・次年度に向けた改善点等	次年度に向けた改善点特になし。今後も適切に認定事務の執行を行う。
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		達成指標が「実施（再延長の検討）」となっていたが、再延長の検討は毎年度実施するものではないため、「実施（必要に応じて再延長の検討）」としたい。

2-3

事業 2-3	ものづくり基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和5年度		
	事業名	DXによる「稼ぐ力」強化事業 （ものづくり産業競争力強化事業）	予 算 額		— 千円		
			決算見込額		— 千円		
	事業概要	DXを通じた製造事業者の生産性向上を果たし、受注増による競争力強化を支援	取組状況	事業結果	R5年度については事業案の構築のみ。市内製造事業者ヒアリングを行ったところ、以下の課題が判明した。 ①生産管理に関するデータの蓄積ができていても、そのデータを活用できていない事業者が多い。 ②人材確保を課題とする企業が多い。		
	達成指標	DXに取り組む中小製造事業者の割合60%（R8）	達成率等	R6.3.31現在	—	—（%）	
	総合計画の位置付け（分野別）	分野	⑦商工・物流	事業評価	目標の未達成理由・次年度に向けた改善点等	・ 企業の抱える「生産性向上」と「人手不足」を解決する手段としてDX支援を行う必要があるため、R6年度より「中小企業DX支援業務（製造業向け）」として事業を開始。生産管理データの活用ができていない、あるいはデータを活用できる人材を有していない中小製造事業者を対象に伴走支援を行う。 ・ 企業ごとの課題に応じた伴走支援を行いDX推進を行うとともに、実施事例を地域に展開することで、地域全体のDXを促進するよう取り組む。	
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策	05 地域経済におけるDXとGXの推進				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	産業振興課	その他（特記事項）		事業はR6年度より実施		

2-4

事業 2-4	ものづくり基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和5年度	
	事業名	現場改善支援事業	予 算 額		71,807千円の一部	
			決算見込額		71,807千円の一部	
	事業概要	専門アドバイザー派遣による5Sや技術力向上、製品の高付加価値化を支援	取組状況	事業結果	産業支援施設である静岡市清水産業・情報プラザにおいて、現場改善支援事業として専門アドバイザー派遣等を実施した。 【実績】 ・現場改善支援事業者数：14事業所 ・成果発表会：1回実施 その他講座：4講座実施 （現場改善関連1講座、IT関連3講座） 合計131名参加	
	達成指標	支援事業者数 15者/年	達成率等	R6.3.31現在	14者/年	（達成率）93.3（％）
	総合計画の位置付け（分野別）	分野 政策 施策	⑦商工・物流 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 02 経営基盤・競争力の強化	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・申請15者のうち1者が途中辞退し、目標未達となった。 ・現場改善の取り組みが一時的にのみならず、定着されているのか図るため、フォローアップの必要がある。次年度は、フォローアップに力を入れ、改善支援後の事業者に対して、電話や訪問によるヒアリングを実施する。
		分野 政策 施策				
担当課等	産業政策課		その他（特記事項）			

2-5

事業 2-5	ものづくり基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和5年度		
	事業名	産学連携事業 （産学共同研究委託事業）	予算額		76,585千円の一部		
			決算見込額		76,585千円の一部		
	事業概要	高度な知識・技術・ノウハウを持つ大学等と共同で取り組む調査・研究・開発を支援	取組状況	事業結果	・基礎コースでは、主に「調査研究や技術・サービスの向上」に係る課題で、新たな提案と具体策が見込め、将来性が期待できるものを採択。 ・応用コースでは、主に「ものづくり系」に関する課題で、基礎的な研究が既にできているもので、事業終了時に必ず試作品ができ、数年内に実用化（商品化）が見込めるものを採択。 ・発展コースでは、基礎コースまたは応用コースを経験した後、数年内の課題で、研究が既に終了し、実用化（商品化）を目的とするものを採択。 ・共同研究期間 令和5年7月初旬～令和6年2月末日 ・共同研究件数 9件 ・令和6年3月22日に成果発表会を行った。		
	達成指標	委託契約件数 6件/年	達成率等	R6.3.31現在	9件/年	（達成率）150（％）	
	総合計画の位置付け（分野別）	分野 政策 施策	⑦商工・物流 01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します 01 協働・共創体制の構築	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	基礎、応用、発展と各コースごとの特徴が出ており、コースの内容がほぼ定着しつつあるが、研究が終了し出口戦略を目的とする発展コースについては、提案事業者のみで効果的な計画を立てられないことが多い。そのため、次年度以降発展コースでは専門的なアドバイザーアドバイザーの配置を必須とするよう公募要項に明記し、必要経費として盛り込むことを検討する。	
		分野 政策 施策					
担当課等	産業政策課		その他（特記事項）				

2-6

事業 2-6	ものづくり基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和5年度	
	事業名	新商品開発支援事業 （静岡おみやプロジェクト）	予 算 額		76,585千円の一部	
			決算見込額		76,585千円の一部	
	事業概要	新商品開発に向けた開発から販売まで一貫したマーケティング手法の習得を支援	取組状況	事業結果	・ 地域資源を活用した新商品開発をマーケティングを学びながら実践することで、事業者の商品開発力を向上させた。 ・ プロジェクト期間 令和5年6月中旬～令和6年3月末 ・ 参加事業者数 6社 ・ マーケティング戦略に基づいた6商品が2月時点で完成	
	達成指標	新商品開発件数 6件/年	達成率等	R6.3.31現在	6件/年	（達成率）100（％）
	総合計画の位置付け（分野別）	分野 ⑦商工・物流	事業評価	目標の未達成理由 ・ 次年度に向けた改善点等	・ 応募事業者が減少しているため、募集要項やテーマなどを再検討することで、事業者の求める商品開発支援プロジェクトとしていく。 ・ これまで商品開発後の販路開拓の支援が充分ではなかったため、販路拡大策についても検討していく。	
		政策 01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
		施策 05 地域経済におけるDXとGXの推進				
	分野 政策 施策					
担当課等	産業政策課		その他（特記事項）			

2-7

事業 2-7	ものづくり基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）		令和5年度		
	事業名	海洋産業クラスター創造事業	予算額		9,521千円	
			決算見込額		9,521千円	
	事業概要	好循環を生み出すための産業クラスターを構築することによる海洋関連産業の育成	取組状況	事業結果	・支援対象となる企業等の発掘のため、企業や大学等研究機関を対象としたセミナー・交流会を3回開催し、特定テーマの事業化に興味を持つ企業とのつながりを作るとともに、継続してフォローを実施している。 ・海洋関連機器開発の実海域における事業化に向けた実証実験の手続きや関係者調整の支援を実施した。 【実績】 ・共同研究等支援の件数 4件 ・実海域実証支援の件数 4件 合計支援件数 8件	
	達成指標	支援件数 6件/年	達成率等	R6.3.31現在	8件/年	(達成率) 133.3 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	⑦商工・物流	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・セミナー、交流会参加者のフォローをする中で次回のセミナーテーマを選定し、より事業化へ向けた産学産産マッチングの機会提供を行うことで支援を強化する。 ・実海域での実証支援を強化するため、関係機関と連携して実証実施がしやすい環境の整備に着手する。
		政策	01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します			
施策		02 本市産業特性の活用				
担当課等	BX推進課		その他(特記事項)			

2-8

事業 2-8	ものづくり 基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和5年度		
	事業名	グリーン産業創出支援事業	予 算 額		12,000 千円		
			決算見込額		4,821 千円		
	事業概要	脱炭素化に資する新技術や新商品の開発・実証事業等に対する経費の助成	取組状況	事業結果	・脱炭素社会の実現に資する新技術開発等補助金を実施した。 <採択件数> ・調査事業 0 件 ・新技術開発・研究事業（ブルーカーボン、バイオマス） 2 件		
	達成指標	補助採択件数 4 件/年	達成率等	R6.3.31 現在	2 件/年	(進捗率) 50 (%)	
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	④生活・環境分野	事業 評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	HP等での周知や企業に対する個別のアプローチは行っていたものの、当該補助事業のニーズは少なく目標未達となった。このため、次年度以降は、市内企業のGX（グリーントランスフォーメーション）への関心を高めていくための取組（セミナー、勉強会等）も併せて実施していく。	
		政策	01 地域脱炭素の取組を加速させます				
施策		02 省エネルギーの推進					
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	GX推進課		その他 (特記事項)	達成指標を「事業活用件数 計20件以上（R12）」としていたが、毎年度の事業進捗を確実にするため、「補助採択件数 4 件/年」としたい。		

2-9

事業 2-9	ものづくり 基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和5年度		
	事業名	中小企業者省エネルギー設備導入事業助成	予 算 額		3,000 千円		
			決算見込額		643 千円		
	事業概要	C02削減の意識醸成を図り、省エネルギー化 に向け、省エネルギー設備の導入経費を助成	取 組 状 況	事業結果	・ 中小企業が行う省エネ設備の導入経費に対して助成を行い、事業者 の脱炭素化を支援した。 【補助件数】 ・ 9 件		
	達成指標	C02排出量50%以上削減（R12）	達 成 率 等	R6. 3. 31 現在	C02排出量12. 6%削減	—（%）	
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野	④生活・環境分野	事 業 評 価	目標の 未達成 理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	なし（R5年度で終了）	
		政策	01 地域脱炭素の取組を加速させます				
		施策	02 省エネルギーの推進				
	分野						
	政策						
	施策						
	担当課等	GX推進課		そ の 他 （特記事項）	「中小企業者省エネルギー設備導入事業助成」はR5年度をもって制度 廃止		

2-10

事業 2-10	ものづくり基本計画	方針（付加価値を高める生産力づくり）			令和5年度	
	事業名	オクシズ漆の里構想事業（★）	予 算 額		7,350 千円	
			決算見込額		7,350 千円	
	事業概要	ウルシを育て、漆を製品化し、地場産業等で活用する「漆の地産地消」体制の構築	取組状況	事業結果	「漆の地産地消」体制の構築にむけて、栽培方法の確立のための試験植樹や、製品化のあしがかりのための普及促進、人材育成などを実施している。R5年度においては、これらの推進のため、オクシズ「漆の里」協議会運営支援を行い植樹面積の拡大、研修会等の開催による認知度向上の効果があった。 【実績】 ・試験植樹の面積 0.41ha ・研修会等の開催 6回延べ159名参加	
	達成指標	ウルシ植樹面積 8ha（R8）	達成率等	R6.3.31現在	3.49ha（R5まで）	—（％）
	総合計画の位置付け（分野別）	分野	⑧農林水産分野	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	市内産漆の地産地消体制の構築を目指し、植樹事業を含む協議会の各種事業を計画的に展開していくと共に、事業のブランド化を図ることによって市民や民間企業等の理解を深め、事業継続のための資金獲得や体制づくりをする。
		政策	04 オクシズの地域資源の保全と活用を推進します			
施策		02 オクシズ地域に受け継がれてきた文化や産業の活用				
	分野					
	政策					
	施策					
	担当課等	中山間地振興課	その他の（特記事項）			

3-1

事業 3-1	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	持続的発展に向けた競争力強化事業助成（★）	予算額		12,000 千円
			決算見込額		11,245 千円
	事業概要	付加価値を高める競争力・販売力の強化に向け、販路開拓と新商品開発に係る経費を助成	取組状況	事業結果	コロナ禍を経て国内に協力先を求める企業が増加していることから、展示会に対する需要が回復し、展示会参加を目的とした補助金の利用が好調であった。 事業活用件数：40件
	達成指標	事業活用件数 33件/年	達成率等	R6.3.31 現在	40件/年 (達成率) 121.2 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 施策 03 新製品・技術開発に向けた支援	事業評価	目標の未達成理由 ・ 次年度に向けた改善点等	補助金の利用企業や大規模展示会共同出展事業からバイヤーが求めている情報を収集し、再び補助金の利用企業に還元して、出展効果がより高まるよう支援していく。
	担当課等	産業振興課			

3-2

事業 3-2	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	大規模展示会共同出展事業	予算額		5,523 千円
			決算見込額		5,499 千円
	事業概要	国内最大の展示会への共同出展による中小製造事業者の競争力の強化を支援	取組状況	事業結果	- R5年6月に東京ビッグサイトにおいて開催された機械要素技術展に、市内中小製造事業者5社と共同出展を行った。 - 名刺交換数に対する商談に進んだ割合は、3.05%と目標を下回ったが、商談に進んだ案件の中には、上場企業との取引につながりつつある案件も出てきており、静岡市ブースに参加した共同出展事業者から高評価を得た。
	達成指標	商談に進んだ割合 11%	達成率等	R6.3.31 現在	商談に進んだ割合 3.05% (達成率) 27.7 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 施策 01 新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	目標の未達成理由 ・ 次年度に向けた改善点等	- コロナの影響がなくなり、来場者数が増加したことにより、確度の高い名刺交換の割合が低下したため、商談に進んだ割合は、3.05%と目標を下回った。 - 販路開拓の機会は展示会の開催期間に限られるため、展示会での成功事例や来場者アンケートの結果などの情報を、機会を逃すことなく提供し、商談しやすい環境づくりをする。 - 来場者アンケートの結果、展示会への主な来場目的は「技術トレンドの収集」であることが分かった。共同出展事業者は自社にしかない技術を持っていたり、ニッチな業界にポジションをとっていたりする。引き続き多数の来場者が見込まれる中、その特性に着目してもらい、商談に繋げられるような環境づくりを行う。
	担当課等	産業振興課		その他(特記事項)	

3-3

事業 3-3	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	首都圏販路拡大支援事業	予算額		14,036千円
			決算見込額		13,979千円
	事業概要	テストマーケティングを通じた商品開発、商談会による商品開発力や商談力の向上を支援	取組状況	事業結果	・テストマーケティングは、東京都港区にある「THE COVER NIPPON」と「無印良品日銀座店」の2店舗×2回実施。10商品の商品改良を行った。 ・商談会は、11月30日に東京都千代田区京橋の信金中央金庫ビルにて実施し、中部5市2町の事業者35者が商談に臨んだ。1000名のバイヤーに事前告知をしていたが、当日参加者は103名となり、商談件数は433件と目標値には及ばなかった。
	達成指標	商談件数 600件/年	達成率等	R6.3.31現在	433件/年 (達成率) 72.2 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 施策 01 新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・来場バイヤー数が見込みの半分となったため、商談件数が伸びなかった。来場バイヤー数が下回った要因として、商談会実施日が月末業務に加え、年末商戦に向けたバイヤーの繁忙期と重なってしまったことが考えられる。今後同じことが無いよう、事前にバイヤーの年間の動きや、商談の好機を調査する。 ・着実に首都圏で売れる商品を作るため、R6年度からはマーケティング調査を行ったうえで、商品開発及び商談を進める。
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		

3-4

事業 3-4	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	中小企業の海外展開に対する支援	予算額		5,964千円
			決算見込額		5,926千円
	事業概要	海外展開に向けたテストマーケティングや商談会、営業代行等の支援の実施	取組状況	事業結果	・台湾への販路拡大支援として、台湾店舗によるテスト販売、委託事業者によるオンライン商談会、営業代行を実施し、商談件数は33件となった。 ・テスト販売は、台湾の和食レストラン「えん」で行い、焼津市の銀鯔一夜干しや静岡市の鰯削り節を使った料理が好評であった。特に、銀鯔一夜干しについては、テスト販売後に「えん」の台湾事業部が来静し商談を実施。現在も商談中であり、商談成立の可能性が高い。
	達成指標	商談件数 36件以上/年	達成率等	R6.3.31現在	33件/年 (達成率) 91.7 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 施策 01 新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	・台湾バイヤーの求める商品が想定より少なく、商談件数が目標に満たなかった。 ・参加事業者の売りたいものをそのまま支援するのではなく、台湾のマーケット調査を行い、そのうえで、商談の見込みがあるものを選別し、着実な商談成約を狙う。
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		

3-5

事業 3-5	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	日本貿易振興機構静岡貿易情報センター事業助成	予算額		3,959千円
			決算見込額		3,959千円
	事業概要	静岡貿易情報センターへの助成によるスケールメリットを生かした海外展開等を支援	取組状況	事業結果	・セミナー開催件数は目標を下回ったものの、相談件数は531件と前年並みに推移している。 【セミナー内容】 ・持続可能な社会について ・日本食品の欧州市場への進出、貿易について ・サステナブル消費とトレンド深堀 等 【相談内容】 ・貿易投資に関する相談 464件 ・海外販路拡大の一貫支援、輸出の個別支援等の相談サービスの利用 67件
	達成指標	セミナー開催回数 6件/年	達成率等	R6.3.31現在	5件/年 (達成率) 83.3 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野政策施策	事業評価	目標の未達成理由・次年度に向けた改善点等	・コロナ禍からの回復や円安の影響を受け、海外との貿易経験がない企業の海外展開が増えた。静岡市内でも貿易初心者に向けたセミナーを開催したが、他自治体からの要望も増えたことにより相対的に市内開催セミナーが前年度に比べ少なくなり、目標件数に1件届かなかった。 ・海外進出意欲のある中小製造事業者に対して、(独)日本貿易振興機構主催のセミナーへの参加や相談を促すことにより、同機構の認知度向上や海外展開支援メニューの利用促進に繋げ市内企業の海外展開に貢献していく。
	担当課等	産業振興課			

3-6

事業 3-6	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	伝統工芸等ものづくり事業者支援事業	予算額		4,094千円
			決算見込額		4,054千円
	事業概要	商品開発、各種プロモーション、販路開拓までをプロデューサー指導のもと各種支援の実施	取組状況	事業結果	・意欲的なものづくり職人を対象に商品開発や商品ブラッシュアップを行い、各種プロモーション活動を展開。さらに首都圏展示会出展等により販路開拓を実施した。 参加職人：木工指物、挽物、和染、蒔絵、畳、アクリル加工等 新規開発品：3点 プロモーション活動：HP及び各種SNSでの発信 展示会出展：ギフトショー（ビッグサイト）出展 ててて商談会（スパイラルホール）他 販路開拓：駿府楽市での企画販売、常設展の実施、HP及びカタログ作成、ECサイト立上げ
	達成指標	展示会等出展 1回/年	達成率等	R6.3.31現在	1回/年 (達成率) 100 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野政策施策	事業評価	目標の未達成理由・次年度に向けた改善点等	今後は受注の安定化を目指す必要があるため、反応を基にした商品のより一層のブラッシュアップを図り、展示会によるバイヤー開発による店頭販売の対面とECの充実によるネット販売強化など多様な販路開拓を強化していく。
	担当課等	産業振興課			

3-7

事業 3-7	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	ニューウェーブしずおか創造事業助成（地場産業支援事業）	予算額		6,437 千円
			決算見込額		6,383 千円
	事業概要	商品開発と販路開拓を行う「ニューウェーブしずおか創造事業」の実施経費の助成	取組状況	事業結果	・地元の意欲的地場産業者が参加し、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施。また、試作を繰り返し作成した。 ・PRツール等を作成しつつHPやSNS等で告知し「東京インターナショナルギフトショー」に出展することで販路開拓を実施した。 参加事業者：6 者 公募デザイナー：6 者 開発点数：20 点 展示会出展：1 回
	達成指標	商品開発点数 延べ30点（R12）	達成率等	R6.3.31 現在	20点（R5） —（%）
	総合計画の 位置付け （分野別）	分野 ⑦商工・物流 政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 施策 01 新市場・販路開拓に対する支援	事業 評価	目標の 未達成 理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	・商品開発点数は出展者の製造品種等により、大きく左右され家具等大物の開発が複数あり点数は20点に留まった。開発点数は開発内容に大きく左右されるため、今後は指標を事業の参加者数とすることでより適切な評価としていく。 ・今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要があるため、展示会出品点数を増加し販路開拓を向上させていく。
	担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）	達成指標を「商品開発点数延べ30点（R12）」としていたが、事業に則した達成指標にするため、「参加事業者数 6 者/年」に変更したい。

3-8

事業 3-8	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	特産品展示コーナー（駿府楽市）運営事業	予算額		16,481 千円
			決算見込額		16,478 千円
	事業概要	地場製品の愛用促進と販路開拓に向け、駿府楽市「特産品展示コーナー」での企画展示	取組状況	事業結果	・JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間26回の展示会を開催した。 ・季節や行事に合わせた展示会を行い、訪れる人々に工芸品の魅力を効果的に伝えることができた。また、展示会の開催だけでなく、特定のテーマに特化したブースの設置や、デジタルサイネージを活用した工芸品制作動画放映など、展示方法の改善を行ったことも来場者数及び工芸品売上金額の向上に寄与する結果となった。 ・R5来場者数 343,780人
	達成指標	工芸品の年間売上金額 31,600千円/年	達成率等	R6.3.31 現在	46,092千円/年 (達成率) 146（%）
	総合計画の 位置付け （分野別）	分野 ⑦商工・物流 政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 施策 01 新市場・販路開拓に対する支援	事業 評価	目標の 未達成 理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	・当初目標の売上金額を大幅に上回ることができたが、コロナ禍が明けたことによる反動需要の効果が大きい。この需要は一過性のものであり、今後も持続可能な成長を目指す必要があるため、店舗改修計画と併せて展示方法の見直しを行っていく。 ・AIカメラによる属性分析を行い、より効果的な展示コーナーへと改善することで、地場産業の認知度向上に努める。
	担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）	

3-9

事業 3-9	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	産業フェアしずおか開催支援事業		予算額	14,550千円
				決算見込額	14,550千円
	事業概要	地元産品のPRと愛用促進による伝統工芸の振興を図るため、フェア開催経費を助成	取組状況	事業結果	地元の地場産業、農業、林業、水産業や工業、観光等に係る特産品を一堂に集め展示PR・販売等を行う「産業フェアしずおか」が11月25日、26日に開催された。 市は運営や広報への協力、開催経費の助成により滞りなく事業を実施することができた。
	達成指標	来場者数 80,000人	達成率等	R6.3.31現在	34,300人 (達成率) 42.9 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 施策 01 新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	目標の未達成理由・次年度に向けた改善点等	・農水産物の出展者減少や魅力的なコンテンツの減少に伴い目標の来場者数を達成出来なかった。 ・ソーシャルメディアの活用を通して情報発信をより積極的に行うことで来場者の増加に繋げる。 ・若年層・ファミリー層の来場者が少なかったことから次年度以降力を入れてアプローチを実施していく。 ・地場産品の認知度向上に向けて本市の地場産品の展示コーナーを設けるなどの取り組みを検討していく。 ・主催者である静岡産業振興協会が魅力あるコンテンツ作り、情報発信に力を入れていけるように支援していく。
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		

3-10

事業 3-10	ものづくり基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	伝統工芸品産業育成・振興事業（しずおか特産品まつり）		予算額	3,468千円
				決算見込額	3,468千円
	事業概要	市民に宣伝・PRし、業界の育成・振興を図るため、しずおか特産品まつりの開催	取組状況	事業結果	・しずおか特産品まつりを春の市（5月20日～5月21日）、秋の市（9月30日～10月1日）の計2回実施し、来場者数は春の市11,000人、秋の市7,500人の合計18,500人となった。 ・好天に恵まれたことや他のイベント重なったこともあるが、広報に力を入れて生涯学習施設や図書館、行政モニターの活用やワークショップを充実させたことなどで新規来場者の会得に繋がった。 ・職人と直接話ができた工芸品が身近に買えるイベントとして定着している。
	達成指標	来場者数（春・秋）6,900人/年	達成率等	R6.3.31現在	18,500人 (達成率) 268.1 (%)
	総合計画の位置付け(分野別)	分野 ⑦商工・物流 政策 02 地域経済を支える中小企業の振興を推進します 施策 01 新市場・販路開拓に対する支援	事業評価	目標の未達成理由・次年度に向けた改善点等	前年度の結果を踏まえて、イベントの周知に尽力した結果、前年度を超える来場者数を達成することが出来た。より多くのメディアに取り上げてもらい来場者数を増やすために報道資料の書き方や内容の改善を実施し、PRや広報に力を入れていく。
	担当課等	産業振興課	その他(特記事項)		

3-11

事業 3-11	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	ホビーのまち静岡推進事業	予算額		94,205 千円
			決算見込額		90,390 千円
	事業概要	市のブランドイメージと求心力の向上に向け、ホビー推進協議会静岡の事業に対する助成	取組状況	事業結果	市の地域資源であるホビーを活用し、「ホビーのまち静岡」として市内外に情報発信することで市のブランド化及び地域経済の活性化を図るため、以下の事業を実施し、「ホビーのまち静岡」の認知度向上を図った。 ①ホビー推進協議会静岡が実施するホビーのまち静岡推進事業への補助金を交付 ②静岡ホビースクエアの施設維持管理 ・大規模施設修繕を2件実施 ・警備、保守等の年間委託 ・光熱水費等の支払い ・管理組合への負担金、修繕積立金の納入
	達成指標	ホビーのまち静岡の認知度 (R12：35%、R5：28%)	達成率等	R6.3.31 現在	31% (達成率)110.7 (%)
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野 ⑥観光・交流分野 政策 01 国内外に誇れる地域資源を生かした観光を推進します 施策 02 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	ホビーの情報発信基地である「静岡ホビースクエア」が入居するサウススポット静岡は築26年が経過し、経年劣化等による故障の件数が増え、修繕が追いついていない状況。ブランドイメージを損なわないためにも施設修繕は必要であるため、修繕箇所の優先順位をつけるとともにビル管理会社と相談の上、計画的な修繕計画を検討していく。
	担当課等	産業振興課	その他 (特記事項)		達成指標を「ホビーのまち静岡の認知度35% (R12)」としていたが、事業年度ごと評価できるようにするため、R5年度の評価を設定した。

3-12

事業 3-12	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度	
	事業名	ホビー産業育成支援事業	予算額		2,629 千円
			決算見込額		2,295 千円
	事業概要	市の求心力の向上に向け、イベント、展示、パンフレット等によるホビー産業の情報発信	取組状況	事業結果	本市が全国に誇るホビー産業を戦略産業として選定し、以下の事業を実施することで、「ホビーのまち静岡」の認知度向上を図った。 ①情報発信事業 ・ドリウムプラザにて、プラモデルの魅力を発信するミナトホビーフェスを開催した ②市内向けのプロモーション事業 ・しずチカにてクリスマスフェスタを含むホビーのまちをPRする展示を行った ③国内外に向けた情報発信 ・模型の世界首都パンフレットを作成し、各種イベント等で配布した。
	達成指標	ホビーのまち静岡の認知度 (R12：35%、R5：28%)	達成率等	R6.3.31 現在	31% (達成率)110.7 (%)
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野 ⑥観光・交流分野 政策 01 国内外に誇れる地域資源を生かした観光を推進します 施策 02 模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり	事業評価	目標の未達成理由 ・次年度に向けた改善点等	コロナ禍により市外での情報発信イベントが開催できず、市内でのイベント開催に切り替えている。今後は市外でのイベント開催に向け、模型関係団体や模型メーカーと内容、時期、場所等を検討し、効果的なブランディングや認知度向上に取り組んでいく。
	担当課等	産業振興課	その他 (特記事項)		達成指標を「ホビーのまち静岡の認知度35% (R12)」としていたが、事業年度ごと評価できるようにするため、R5年度の評価を設定した。

3-13

事業 3-13	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度		
	事業名	静岡市プラモデル化計画推進事業	予算額		33,050 千円	
			決算見込額		23,240 千円	
	事業概要	模型業界と地元企業等のパートナーシップ構築を目的としたコラボイベント・サービスの創出	取組状況	事業結果	プラモデルに触れる機会を創出し、プラモデルの魅力が体感できる取組として、以下を実施した。 ①企業、団体とプラモデルを活用したコラボイベント等の開催 プラモデルに接する機会を7件創出 ②全国プラモデル選手権大会の開催準備	
	達成指標	「模型の世界首都」への誇りを持ち、自律的にプラモデルを発信する市民の割合（R12:50%、R5:40.7%）	達成率等	R6.3.31 現在	44.5%	（達成率）109.3（%）
	総合計画の 位置付け （分野別）	分野 ⑦商工・物流	事業 評価	目標の 未達成理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	本事業を更に推進させるため、引き続き、公民のパートナーシップ構築を図り、本市とともに事業を推進する協力者を増やすことに注力し、普段プラモデルに接する機会が少ない層へのアプローチ手段として、コラボイベント件数を増やしていく。	
		政策 01 経済成長の原動力となるイノベーションの創出を推進します				
	施策 02 本市産業特性の活用					
担当課等	産業振興課	その他 （特記事項）		市政アンケートモニター調査結果を基礎値として、指標を設定したが、この調査は毎年の実施が困難であるため、R5年より産業フェアにおけるアンケート調査結果を採用し、R12年までに50%を目標に再設定。R5の目標値を40.7%に修正した。		

3-14

事業 3-14	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）		令和5年度		
	事業名	地域産業振興ブランド認証事業	予算額		3,201 千円	
			決算見込額		244 千円	
	事業概要	市民が選ぶ「しずおか葵プレミアムAWARD」の認証・PRによるシティプロモーションの推進	取組状況	事業結果	・しずおか葵プレミアムAWARD専用ホームページでのPR ・清水区役所での商品展示や冊子の配架 ・各種イベントでの周知 ①しんきんビジネスフェア（R5.10 ポートメッセ名古屋） ②産業フェアしずおか2023（R5.11 ツインメッセ） ③静岡市交流会（R5.12 都市センターホテル（東京都）） ・静岡市交流会では、しずおか葵プレミアム以外にも、「余ハ此處ニ居ル」プロジェクト（静岡商工会議所）や駿州堂（静岡市観光政策課）など、他のブランド事業とも連携を図り、共同ブースを出展し、商品等のPRを行った。	
	達成指標	ブランド認知度 55%	達成率等	R6.3.31 現在	51%	（達成率）92.7%（%）
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野 —	事業 評価	目標の 未達成 理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	例年同じイベントで同じPR活動のみを実施していたため、新たな認知度の獲得につながらなかったと考える。今後は他のブランド事業との連携を強化し、新規PR先を開拓し、これまでとは違う客層にアプローチする。	
		政策 —				
		施策 —				
	分野 政策 施策					
担当課等	産業振興課		その他 （特記事項）			

3-15

事業 3-15	ものづくり 基本計画	方針（顧客から求められる販売・営業力づくり）			令和5年度		
	事業名	女性活躍ブランド認定事業	予算額		355千円		
			決算見込額		310千円		
	事業概要	女性活躍ブランドの認定によるモチベーションアップや取組波及等、女性の活躍を推進	取組状況	事業結果	・女性活躍ブランド商品を5件認定 ・以下の方法で情報発信を実施 ①イベント展示・販売 ・庁内外における展示（計5回） ・イベントでの販売（計1回） ②各種メディア ・テレビや新聞、ラジオ、HP等様々な報道手段による「見える化」 ・認定商品紹介冊子の作成、配布		
	達成指標	ブランド商品認定数 5件/年	達成率等	R6.3.31 現在	5件/年（R5）	（達成率）100（%）	
	総合計画 の 位置付け （分野別）	分野 — 政策 — 施策 —	事業 評価	目標の 未達成 理由 ・ 次年度 に向けた 改善点等	なし（R5年度で終了）		
		分野 政策 施策					
担当課等	男女共同参画・人権政策課		その他 （特記事項）	達成指標を「ブランド商品認定数延べ85件（R12）」としていたが、事業がR5年度で終了したことから、達成指標を「ブランド商品認定数5件/年」としたい。			